

One For All, All For One!



国土交通省

Vol.1

若手勉強会始動 & 第1回勉強会を実施！

担当：鈴木（4年目）
佐竹（4年目）

○ 若手勉強会とは？

> 国土交通省東北地方整備局では、「**事務系業務の各分野におけるスキルアップ**」と「**若手職員間の横のつながりを深めること**」を目的として「若手事務系職員育成プログラム」を行っています。

> 今年度の事務系若手メンバーは、入省1年目4名、2年目4名、3年目1名、4年目2名の**計11名**で、宮城A班5名と宮城B班6名の2つのグループに分かれています。

> 5月27日に宮城A・B班合同で初回顔合わせを行い、自己紹介と今後の進め方について話し合いました。

顔合わせ（5月27日）

所内勉強会（6月～10月）

成果発表会（11月）

報告書提出・反省会（12月）

○ 第1回勉強会を実施しました！（宮城A班・B班合同開催）

> 6月20日に第1回勉強会を開催し、事務副所長から講話をいただきました。仕事に対する向き合い方・心構えや業務を行う上で気をつけていることなど、事務副所長の経験談を交えて様々なお話を聞くことができました。また、若手職員が抱えている悩みについて相談にのっていただき、様々なアドバイスをいただきました。

【感想】

- ・法律や通知を言葉で覚えるのではなく、業務に当てはめ自分なりのイメージを持つと記憶に残りやすいと教えていただいたため、今後意識していきたい。
- ・事前に仕事の組み立て方を意識することで効率よく業務を進められることを教えていただき、今後の業務に活かしていきたい。
- ・プライベートを充実させることや、職員同士の繋がりを持ち相談しやすい環境を作ることが業務を進めていく上で大切であることを学んだ。



事務副所長講話の様子

> 講話後には班員各自が担当している業務について説明し、その内容を基に今後の勉強会についての打合せを行いました。班員が担当する業務を深掘りしたり、逆に班員が担当していない事務系業務について学んだり、今後必要とされる知識やスキルを習得していきたいと考えています。

～ 「One For All, All For One」の意味とは ～

一般的には「一人はみんなのために、みんなは一人のために」で認知されていますが、本当の意味は、「**一人はみんなのために、みんなは一つの目的（目標）のために**」です。

仕事は1人だけで行うものではなく、複数人（みんな）で協力し合って行うものであるため、**皆で力を合わせて頑張ろう**という気持ちを込めて、このタイトルにしています。

「One For All, All For One!」は、国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所及び宮城南部復興事務所に所属している1～4年目の事務系若手職員が作成しています。

▶ ホームページ <https://www.thr.mlit.go.jp/sendai/oyakudachi/student/index.html>